

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	翼		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中学生以上の利用者さんしかいないため、活動内容や支援の方針が決めやすく、ニーズを絞しやすい。	中学生以上の利用者さんであるため、学校卒業後の将来を見据えた活動(LST、SST)を中心に活動内容を考えている。また、一人ひとりどういった活動をしていくかPDCAサイクルを回し修正や改善を行っている。	利用者さんのニーズをしっかりと把握し、一人ひとりの成長につなげられるような療育、支援内容を考えていきたい。また引き続きPDCAサイクルはしっかりと回していきたい。
2	集団活動と個別療育を毎日取り入れていることと、活動の流れは毎日同じとしているため、利用者さんも職員も分かりやすいと思われる点。	集団活動と個別活動を毎日取り入れることで、それぞれで得意な場面を見つけていき、自信につながる活動を取り入れている。毎日活動の流れを同じとしていることで、スムーズに行動できることでこちらも自信につながっている。	現状の取り組みを継続していく、自信につながったところから苦手なところも少しでもできる取り組みを考えていきたい。
3	毎日のミーティングや定期的会議、必要に応じて会議など行っており、職員同士で統一した療育や支援、考えなどを持って取り組むことができる。	毎日のミーティングでは前日(前回)の振り返りを行い、次に活かせるように話を行い考えている。会議の内容を職員で出し、自分たちに何が必要か考えられるようにしている。	毎日のミーティングは継続して行うが、内容については見直しを定期的に行い、意味のあるミーティングを続けられるようにしていく。また、会議も同じように内容の見直しや進め方を変えながらよりよいものにできるように考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に個室がなく、狭いところ。	個室を増やすことができず、造りにより狭くなってしまう。	個室を増やすことはできないため、パーティションや仕切りなどを活用し、利用者さんが過ごしやすい空間を作っていく。
2	ご家族が参加できる講演会や相談会、研修などの実施ができていない。	講演会や相談会、研修などの開催の仕方ややり方を分かっていない。	実際行っている所へ外向き、どのような形で実施されているか見たり聞いたりして、自分たちでも開催できるように検討していく。
3	放課後児童クラブや地域の子ども達と交流する機会が少ない。	交流するイベントや機会を作っていないため。	年に1回マルシェを行っているため、マルシェを通して関わることができる機会を検討していく。